

科目名	言語知識 文法B_N1				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	横地 知子
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	この授業では、JLPTN2を取得している学生を対象に、実際に日本で働いたり、生活する場面を想定し、例文を多く使いながら、N1の文法を学んでいく。JLPT N1に出題される文法項目を中心に学び、また、ビジネス場面でよく使われる文法表現も学ぶ。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○	◎			
	○	◎			
	○	◎			
	○	◎		○	
目標					
文の内容にあった文法形式を使って文を作ることができる。					
N2～N1レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。					
N1レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。					
習得した文法を、基本的なビジネスの場面で運用できる。					
テキスト・教材 参考図書	・佐々木仁子、松本紀子『日本語総まとめN1 文法』アスク出版 2018年 ・氏原庸子 岡本牧子 共著『日本語能力試験 必修パターン N1文法』Jリサーチ出版 2016年 他 ・宮崎道子、瀬川由美『BJTビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集 第二版』スリーエネットワーク 2018年				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	日本語総まとめN1 第1週 復習			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	2	日本語総まとめN1 第2週 1日目「なり」を使った表現 2日目「であれ」、 「意志形+が」「どんなに～か」、3日目「どうか」「まい」「にせよ」を使った表現			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	3	日本語総まとめN1 第2週 4日目 例示表現「だの」「といい」「AがAなら、BもB」5日目「ては」、「つ」を使った反復表現 6日目「とも」「～たら～たで」「のやら」を使った表現			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	4	日本語総まとめN1 第3週 1日目「まで」を使った表現 2日目「限り」を使った表現 3日目「とは」「とはいえ」「といえども」「との」			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	5	日本語総まとめN1 第3週 4日目「～皮切りに」「をもって」「というもの」を使って期日を表す表現 5日目「やいなや」「が早いか」「たが最後」時期を示す表現と「科」と思いきや 6日目 平行性、同時性を表す表現「そばから」「かたわら」「がてら」「かたがた」			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	6	復習第2週～第3週			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	7	日本語総まとめN1 第4週 1日目「なくして～はない」「なしに～ない」「ともなく」「～ば ～ものを」2日目「すら」「にして」「ともあろう(者)」が、「ともなると」3日目 接辞語「ずくめ」「まみれ」「ぐるめ」「並み」			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	8	日本語総まとめN1 第4週 4日目「とあって」「とあれば」「にあって」「あつての」5日目「からする」「たりとも」「なりとも」「ならでは」6日目 文末表現(否定形)「くはない」「ないものでもない」「とは比べものにならない」「ないものか」			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	9	日本語総まとめN1 第5週 1日目 文末表現(否定形)「ずにするだ、ずにするまい、だけではすまない、ずにはおかない」2日目 文末表現(否定形)「そうもない、ようがない、意志形にも～ない」「よう」を使った表現 3日目「ときたら」「ときている」「ごとく」「ごとし」を使った表現			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	10	日本語総まとめN1 第5週 4日目「至る」「いかん」を使った表現 5日目「に」によらず」「にとどまらず」「と相まって」6日目「べき」を使った表現			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	11	復習第4週～第5週			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	12	日本語総まとめN1 第6週 1日目「に先駆けて」「にもまして」「にひきかえ」「に即して」2日目「つもりで」「ままに」「ずとも」「ずじまい」3日目「ながら」「ながらも」「もさることながら」「手前」			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	13	日本語総まとめN1 第6週 4日目「ゆえに」「んがために」「んばかりに」「とばかり」5日目「をにおいてほかにない」「をよそに」「を経て」「～と～を兼ねて」6日目「を踏まえて」「を前提として」「を境に」「の折に」「を期に」			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	14	日本語総まとめN1 第7週 1日目「～に」「～や」「～という」2日目「にして」「もしないで」「だに」「こととて」3日目「～めく」「～びる」「～ぶる」「～ぶり」			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	15	日本語総まとめN1 第7週4日目文末表現「に耐える」「に堪えない」「に足る」「に足りない」5日目 文末表現「～てみせる」「～もなんともない」「といったらない」「～りゃしない」6日目 否定形を使った表現「～ざる」「ざるを得ない」「には及ばない」			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
	16	復習第6週～第7週			テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)

	17	日本語総まとめN1 第8週 1日目 「はさておき」「はどうであれ」「はおろか」「ならいざしらず」 2日目 文末表現「にはあたらない」「に硬くない」「てやまない」「ではくてなんだろう」 3日目 文末表現(否定形)「でも差し支えない」「に越したことはない」「ばかりがない」	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)				
	18	日本語総まとめN1 第8週4日目 文末表現「を禁じえない」、「を余儀なくされた」「嫌いがある」「始末だ」 5日目 強調した表現「極まる」「極まりない」「～の極み」「～の至り」 6日目 「～かれ、～かれ」「～につけ、～につけ」「をものともせずに」「じゃあるまいし」「にあるまじき」	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)				
	19	復習 第8週 苦手分野の復習① 文末表現	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)				
	20	確認テスト①	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)				
	21	苦手分野の復習② 敬語 文の組み立て	間違えた箇所の復習(1時間)				
	22	苦手分野の復習 文章の文法 接続詞	間違えた箇所の復習(1時間)				
	23	ビジネス場面にみる文法表現①	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)				
	24	ビジネス場面にみる文法表現②	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)				
	25	ビジネス場面にみる文法表現③	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)				
	26	ビジネス場面にみる文法表現④	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)				
	27	文法総復習 ① 第1週、第2週	間違えた箇所の復習(1時間)				
	28	文法総復習 ② 第3週、第4週	間違えた箇所の復習(1時間)				
	29	文法総復習 ③ 第5週、第6週	間違えた箇所の復習(1時間)				
	30	文法総復習 ④ 第7週、第8週	試験前総復習(1時間)				
評価方法	(1)小テストを16回実施 (2)後期末に定期試験を実施 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	小テスト	○	◎		○		50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	言語知識 文法B_N2				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	横地 知子
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	日本で働くには日本語能力試験N2以上の力が必要となる。この授業ではN2を受験する学生を対象に、N2レベルの文法とその応用力を高めていく。授業で多くの練習問題を行うことで正しい使い方や運用力を身につける。また、学んだ文法を使って、一般的な話題について話したり、N2レベルでの読み物が読め、聞き取りができるよう練習する。また、ビジネス関連で用いられる文法表現についても学ぶ。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	◎			
	○	◎			
	○	◎			
	○	◎		○	
目標					
文の内容に合った適切な文法形式を用いて文を作ることができる。					
N2レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文を組み立てることができる。					
N2レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。					
習得した文法を使い、コミュニケーションが取れる。					
テキスト・教材 参考図書	・氏原庸子/佐伯玲子著『日本語能力試験N2文法 必修パターン』 Jリサーチ出版 2017年 ・佐々木仁子 松本紀子『日本語総まとめ N2文法』 アスク出版 2018年 他（参考） ・宮崎道子 監修『BJT ビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集 第二版』 スリーエネットワーク 2018年				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	基礎編 UNIT1 助詞			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	2	基礎編 UNIT2 副詞			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	3	基礎編 UNIT3 接続詞			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	4	基礎編 UNIT4 敬語			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	5	基礎編 N3文型復習①時、場所 ②性質、傾向 ③理由、目的 ④条件、方法			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	6	基礎編 N3文型復習⑤様子、状態 ⑥判断 ⑦テーマ、対象 ⑧評価・感想			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	7	基礎編 N3文型復習 ⑨基準・立場 ⑩強調 ⑪限定 ⑫表現のスタイル			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	8	対策編 UNIT1 N2文型の整理①時間、時期 ②立場状況 ③限定			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	9	対策編 UNIT1 N2文型の整理④例示、比喩 ⑤対比 ⑥同時、二つの場所			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	10	対策編 UNIT1 N2文型の整理⑦強調、繰り返し ⑧逆接、意外な気持ち ⑨結果			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	11	対策編 UNIT1 N2文型の整理⑩条件、基準方法 ⑪様子、傾向 ⑫話題、対象			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	12	対策編 UNIT1 N2文型の整理⑬意志、意向 ⑭理由、根拠 ⑮可能、不可能			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	13	対策編 UNIT1 N2文型の整理⑯評価、感想 ⑰見方、考え方 ⑱NG、禁止			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	14	対策編 UNIT2 言葉をつなぐ練習 ドリルA～C			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	15	対策編 UNIT3 文をつなぐ練習 ドリルA, B			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	16	対策編 実戦練習 JLPT N2 問題7に挑戦！パターン①～④			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	17	対策編・JLPT N2 問題7に挑戦！パターン⑤～⑥			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	18	対策編・JLPT N2 問題8に挑戦！①～⑤			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	19	対策編・JLPT N2 問題9に挑戦！パターン①②			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	20	確認テスト			間違えたところの復習をすること。(1時間)
	21	対策編・JLPT N2 問題9に挑戦！パターン③④			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	22	対策編・JLPT N2 問題9に挑戦！パターン⑤⑥⑦			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.6時間)
	23	ビジネスで用いられる文法表現 ①			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	24	ビジネスで用いられる文法表現 ②			復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)

	25	ビジネスで用いられる文法表現 ③	復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)				
	26	ビジネスで用いられる文法表現 ④	復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)				
	27	N2文法 総復習①	間違えたところの復習をすること。(1時間)				
	28	N2文法 総復習②	間違えたところの復習をすること。(1時間)				
	29	N2文法 総復習③	間違えたところの復習をすること。(1時間)				
	30	N2文法 総復習④	間違えたところの復習をすること。(1時間)				
評価方法	(1)授業の中で確認テストを1回、および小テストを計8回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	確認テスト/小テスト	○	◎		○		50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	言語知識 文字語彙B_N1				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	今長 まゆみ
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	N2レベルの学習者を対象にしたクラス。N1レベルで求められる、幅広い場面で使われる日本語を理解するために必要な語彙を中心に、その意味や使い方を学ぶ。また、N1の「言語知識」科目の「文字・語彙」と同じ形式の問題を解くことで文字語彙力を強化していく。また、BJT日本語能力テストで出題されるビジネス語彙、表現も学び、正しく理解、運用することを目指す。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	◎			
	○	◎			
	○	◎			
	○				
	○				
テキスト・教材 参考図書	・佐々木仁子 松本紀子 『日本語総まとめN1 語彙』 アスク出版 2018年 ・松浦真理子 鈴木健司 監修 『日本語パワードリルN1文字語彙』 アスク出版 2018年(参考) ・宮崎道子 監修 『BJTビジネス日本語能力テスト読解 実力養成問題集第二版』 スリーエネットワーク 2018年				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	「日本語総まとめ」第1週 いろいろ表現しよう①(1日目、2日目、3日目)			復習と予習をすること(1時間)
	2	第1週 いろいろ表現しよう①(4日目、5日目、6日目、7日目)			復習と予習をすること(1時間)
	3	復習テスト(第1週)、第2週 いろいろ表現しよう②(1日目、2日目、3日目)			復習と予習をすること(1時間)
	4	第2週 いろいろ表現しよう②(4日目、5日目、6日目、7日目)			復習と予習をすること(1時間)
	5	復習テスト(第2週)、第3週 副詞をじっくり学習しよう(1日目、2日目、3日目)			復習と予習をすること(1時間)
	6	第3週 副詞をじっくり学習しよう(4日目、5日目、6日目、7日目)			復習と予習をすること(1時間)
	7	復習テスト(第3週)、第4週 初級漢字の語彙を覚えよう(1日目、2日目、3日目)			復習と予習をすること(1時間)
	8	第4週 初級漢字の語彙を覚えよう(4日目、5日目、6日目、7日目)			復習と予習をすること(1時間)
	9	復習テスト(第4週)、第5週 中級漢字の語彙を覚えよう(1日目、2日目、3日目)			復習と予習をすること(1時間)
	10	第5週 中級漢字を覚えよう(4日目、5日目、6日目、7日目)			復習と予習をすること(1時間)
	11	第6週 意味が多い言葉を覚えよう(1日目、2日目、3日目、4日目)			復習と予習をすること(1時間)
	12	第6週 意味が多い言葉を覚えよう(5日目、6日目、7日目)			復習と予習をすること(1時間)
	13	復習テスト(第6週)、第7週 まとめて覚えよう①(1日目、2日目、3日目)			復習と予習をすること(1時間)
	14	第7週 まとめて覚えよう①(4日目、5日目、6日目、7日目)			復習と予習をすること(1時間)
	15	復習テスト(第7週)、第8週 まとめて覚えよう②(1日目、2日目、3日目)			復習と予習をすること(1時間)
	16	第8週 まとめて覚えよう②(4日目、5日目、6日目、7日目)			復習と予習をすること(1時間)
	17	復習テスト(第8週)、パワードリルN1文字語彙 第1回、第2回、第3回			復習と予習をすること(1時間)
	18	確認テスト&フィードバック			間違えた問題を復習すること(1時間)
	19	第4回、第5回、集中トレーニング①②、第6回、第7回			復習と予習をすること(1時間)
	20	第8回、第9回、第10回、集中トレーニング③④、第11回			復習と予習をすること(1時間)
	21	第12回、第13回、第14回、第15回、第16回			復習と予習をすること(1時間)
	22	第17回、集中トレーニング⑤⑥、第19回、第20回			復習と予習をすること(1時間)
	23	第21回、第22回、第23回、集中トレーニング⑦⑧			復習と予習をすること(1時間)
	24	第24回、第25回、集中トレーニング⑨⑩、第26回、集中トレーニング⑪⑫			復習と予習をすること(1時間)

	25	第27回、第28回、第29回、第30回	復習と予習をすること(2時間)				
	26	苦手分野の復習	間違えた問題を復習すること(1時間)				
	27	BJT セクション1 語彙文法問題(1番～15番まで)	復習をすること(1時間)				
	28	BJT セクション2 語彙文法問題(16番～30番まで)	復習をすること(1時間)				
	29	後期試験対策総復習①	復習をすること(1時間)				
	30	後期試験対策総復習②	復習をすること(1時間)				
評価方法	(1)授業の中で確認テストを1回、および小テストを計8回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	確認テスト/小テスト	○	◎				50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	言語知識 文字語彙B_N2				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	今長 まゆみ
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	この授業では、外国人日本語学習者を対象に日本語能力試験N2合格を目指し指導を行う。単に語彙知識のみではなく、聴解や読解問題、日常会話にも活かせる語彙運用能力の育成に力を入れる。 難易度がN2レベルの語彙を中心に、約1,200語の読み方、意味を学ぶ。短文や会話の文脈にあった語彙が使えるようにする。また、類義語や表現、反意語なども合わせて学び、文字語彙の定着を図る。 また、N2レベルの漢字の読み書きの定着を図る。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	◎			
	○	◎			
	○	◎			
	○				
	○	◎			
テキスト・教材 参考図書	・氏家庸子/佐伯玲子 共著『日本語能力試験N2 語彙 必修パターン』Jリサーチ出版 2017年 ・松浦真理子 鈴木健司 監修『日本語パワードリルN2文字語彙』アスク出版 2019年 ・佐々木仁子・松本紀子 著『日本語総まとめ N2 漢字』アスク出版 2018年(参考)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	PART1 基礎編 UNIT1 伸ばす音・伸ばさない音 漢字復習テスト			復習をすること。(1時間)
	2	PART1 基礎編 UNIT2 詰まる音・詰まらない音			復習をすること。(1時間)
	3	PART1 基礎編 UNIT3 「ゝ」や「゜」が付く音			復習をすること。(1時間)
	4	PART1 基礎編 UNIT4 「ん」が入る音			復習をすること。(1時間)
	5	PART1 基礎編 UNIT5 漢字の訓読みに注意したい言葉			復習をすること。(1時間)
	6	PART1 基礎編 UNIT6 いろいろな読み方をする初級漢字			復習をすること。(1時間)
	7	PART1 基礎編 UNIT7 読み方が同じ言葉			復習をすること。(1時間)
	8	PART2 対策編 UNIT1 漢字の訓読みに注意したい言葉			復習をすること。(1時間)
	9	PART2 対策編 UNIT2 いろいろな意味を持つ言葉			復習をすること。(1時間)
	10	PART2 対策編 UNIT3 形が似ていると言葉(1)			復習をすること。(1時間)
	11	PART2 対策編 UNIT4 形が似ていると言葉(2)			復習をすること。(1時間)
	12	PART2 対策編 UNIT5 意味が似ている言葉			復習をすること。(1時間)
	13	PART2 対策編 UNIT6 一字で言葉になるもの			復習をすること。(1時間)
	14	PART2 対策編 UNIT7 前に付く語・後ろに付く語			復習をすること。(1時間)
	15	PART2 対策編 UNIT8 特別な読み方の言葉			復習をすること。(1時間)
	16	PART2 対策編 UNIT9 「たとえ」の表現			復習をすること。(1時間)
	17	第2章 実践練習 UNIT1 問題1に挑戦！			復習をすること。(1時間)
	18	第2章 実践練習 UNIT2 問題2に挑戦！			復習をすること。(1時間)
	19	第2章 実践練習 UNIT3 問題3に挑戦！			復習をすること。(1時間)
	20	確認テスト			復習をすること。(1時間)
	21	第2章 実践練習 UNIT4 問題4に挑戦！			復習をすること。(1時間)
	22	第2章 実践練習 UNIT5 問題5、6に挑戦！			復習をすること。(1時間)
	23	N2レベル 漢字復習① 第2週1～3日目			復習をすること。(1時間)
	24	N2レベル 漢字復習② 第2週4～7日目			復習をすること。(1時間)

	25	N2レベル	漢字復習③	第3週1～3日目	復習をすること。(1時間)		
	26	N2レベル	漢字復習④	第3週4～7日目	復習をすること。(1時間)		
	27	N2レベル	漢字復習⑤	第4週1～3日目	復習をすること。(1時間)		
	28	N2レベル	漢字復習⑥	第4週4～7日目	復習をすること。(1時間)		
	29	N2レベル	総復習①	漢字・語彙	復習をすること。(1時間)		
	30	N2レベル	総復習②	同義語 語彙の用法	復習をすること。(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストおよび小テスト、計6回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	確認テスト	○	◎				50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名		日本事情B_N1									
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	染矢 悠子				
実施年度	2021年度		実施時期	後期		担当者実務経験					
対象学科・学年		国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年									
授業概要		JLPT N2取得者を対象に、日本語で書かれたさまざまなタイプの文章を速く読むトレーニングをする。まず、スキミング(情報取り)とスキミング(大意取り)の技術、および、予測・推測・類推の力を高める練習を行うことで、読む速度を速め、合わせて正確に読み取る力も高めることをねらう。また、課題文から日本文化や日本事情に触れ、日本への理解を深める。									
授業形式		講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	◎				日本語で書かれた文章から、必要な情報や知識を、素早く掴み説明することができる。					
	○	◎				あるさまざまな分野の読み物から、大意を述べることができる。					
	○	◎				見出しやタイトルから、主題や書かれている内容を述べることができる。					
	○	◎		○		ストーリーの続きを予測・推測しながら、読み進めることができる。					
	○	◎		○		日本文化や日本事情について自国や他国と比較しながら語ることができる。					
テキスト・教材 参考図書		・岡まゆみ 『中・上級者のための速読の日本語 [第2版]』 The Japan Times 2013年									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	第Ⅰ部 基本技術編 Aスキミングの技術を使う STEP1～4①②					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	2	第Ⅰ部 基本技術編 Aスキミングの技術を使う STEP4③～⑧					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	3	第Ⅰ部 基本技術編 Aスキミングの技術を使う STEP4⑨～⑮					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	4	第Ⅰ部 基本技術編 Bスキミングの技術を使う STEP5～7					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	5	第Ⅰ部 基本技術編 Bスキミングの技術を使う STEP8～9					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	6	第Ⅰ部 基本技術編 Bスキミングの技術を使う STEP10～11					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	7	第Ⅰ部 基本技術編 Bスキミングの技術を使う STEP11					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	8	第Ⅰ部 基本技術編 Cスキミングとスキミングの技術を同時に使う					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	9	第Ⅱ部 実践編 1 必要な情報を取り出す					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	10	第Ⅱ部 実践編 2 正誤問題 3 選択問題					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	11	第Ⅱ部 実践編 4 タイトル・ピック・主題・内容を考える					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	12	第Ⅱ部 実践編 5 次に続く内容を予測する					復習をすること。(0.5時間) 次回の予習をすること。(0.5時間)				
	13	第Ⅱ部 実践編 6 見出しを読む					復習をすること。(0.5時間)				
	14	第Ⅲ部 挑戦編 1 ショートショート「誘拐」					復習をすること。(0.5時間)				
	15	第Ⅲ部 挑戦編 2 ショートショート「ボッコちゃん」					復習をすること。(0.5時間)				
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題を2回課す。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	定期試験	○	◎				50%				
	小テスト	○	◎				30%				
	宿題・レポート		◎		○		20%				
	発表・作品										

科目名	日本事情B_N2						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	徳田 万里子 伊東 佳代
実施年度	2021年		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年						
授業概要	日本で就労するには、日本語能力試験N2以上の力が求められる。この授業では12月のN2合格を目指して授業を行う。授業では文章理解の基礎となる接続表現、指示語、機能語などのポイントをおさえながら、文章構造を理解し内容把握ができるようにする。またN2読解では、幅広い話題について書かれた論旨の明快な文章を読んで、その内容や表現意図を理解する読解力が必要なため、実際の試験と同様の形式の問題を解き、文章を読む前の内容予測や、読んだ後の正確な解答方法を身につけられるようトレーニングする。JLPT後は、ビジネス文書の読み方の基礎を学ぶ。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：		実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	◎				幅広い話題について書かれた論旨が明快な文章を読んで内容が把握できる。	
	○	◎				比較的平易な内容の評論、解説、エッセイを読み因果関係、概要、筆者の考えを掴むことができる。	
	○	◎				一般的な話題に関する内容の複数のテキストを比較・統合しながら、読み比べることができる。	
	○	◎				論理展開が比較的明快な評論などの長文を読み、話の流れや、表現意図をつかむことができる。	
	○	◎				情報素材から必要な情報を得ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・氏原庸子/清島千春 共著『日本語能力試験N2読解 必修パターン』Jリサーチ出版 2017年 ・安藤栄里子/足立尚子著『必ずできる！JLPT「読解」N2』アルク 2020年 ・BJT ビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集(第2版) スリーエネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	基礎編 第1章 短文・中文 UNIT1、2					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	2	基礎編 第1章 短文・中文 UNIT3、4、5					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	3	基礎編 第1章 短文・中文 UNIT6、7、8					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	4	基礎編 第1章 短文・中文 UNIT9、10					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	5	基礎編 第2章 長文A 事実関係・論理関係に注目するパターン					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	6	基礎編 第2章 長文B 心の動きや考え方に注目するパターン					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	7	対策編 第1章 対策準備					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	8	対策編 第2章 実践練習(内容理解)					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	9	対策編 第2章 実践練習(統合理解)					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	10	対策編 第2章 実践練習(主張理解)					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	11	対策編 第2章 実践練習(情報理解)					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	12	BJT読解① BJTとは ビジネス文書のスタイル 例題(問題パターンと解法)					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	13	BJT読解② 練習問題(BJT 読解 セクション3)					復習:テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間) 宿題をする(0.5時間)
	14	N2読解復習 苦手な分野の復習					定期試験に備えて復習を行う。(1時間)
	15	巻末 模擬試験問題					定期試験に備えて復習を行う。(1時間)
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で読解の評価をする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	小テスト	○	◎				50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						

科目名	日本語表現B_N1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	秋本 佐代子	
実施年度	2021年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年						
授業概要	JLPT N2レベルの学生を対象に自然なスピードの、まとまりのある会話や説明を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したりできるように様々な場面での聴き取りの練習を行う。日本語能力試験N2レベル以上取得を目指して対策授業を中心に、試験の問題形式に合わせた練習をする。また、ビジネスの場で使われる文法や語彙、会話表現を使った聞き取りの練習をし、聴解力を高める。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	◎				自然なスピードのまとまりのある会話を聞いて、次を取るべき行動が予測できる。	
	○	◎				ポイントを絞って必要な情報を聞き取ることができる。	
	○	◎				質問などの短い発話を聞いて、即時に適切な応答ができる。	
	○	◎				長めの会話や説明を聞いて、複数の情報を比較統合しながら、内容が把握できる。	
	○	◎				ビジネス場面での会話を聞き、上下関係や社内外の関係が把握できる。	
テキスト・教材 参考図書	・氏原庸子/岡本牧子共著『日本語能力試験 N1聴解 必修パターン』 Jリサーチ出版 2017年 ・宮崎道子監修『BJT ビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解』 スリーエーネットワーク 2018年(参考)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	聴解対策 基礎編 UNIT6～7 対策編 課題理解① UNIT1				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	2	聴解対策 対策編 課題理解② UNIT1、2				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	3	聴解対策 対策編 ポイント理解① UNIT1				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	4	聴解対策 対策編 概要理解① UNIT1、2				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	5	聴解対策 対策編 即時応答① UNIT1～9				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	6	聴解対策 対策編 統合理解① UNIT1				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	7	聴解対策 対策編 課題理解③ UNIT2				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	8	聴解対策 対策編 ポイント理解② UNIT2				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	9	聴解対策 対策編 概要理解② UNIT3、4				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	10	聴解対策 対策編 統合理解② UNIT2				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	11	確認テスト① フィードバック				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	12	ビジネス場面の聞き取り				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	13	ビジネス場面の聞き取り				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	14	確認テスト② フィードバック				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
	15	総復習 N1レベルの聴解				新出語彙を覚える(0.5時間) 授業で習ったフレーズを復習、音読する(0.5時間)	
評価方法	(1)確認テストを2回、小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記試験) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	確認テスト/小テスト	○	◎				50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						

科目名		日本語表現B_N2					
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	秋本 佐代子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年		国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年					
授業概要		日常的な場面でやや自然に近いスピードの会話や説明を聞いて、話の内容を登場人物の関係などと合わせてほぼ理解できるように、聴き取りの練習を行う。日本語能力試験対策として、N2文法や語彙、会話表現などの確認、練習を行いつつ、試験の問題形式に合わせた練習をする。また、ビジネスの場面での聞き取りの練習をし、聴解力をさらに高める。					
授業形式		講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	◎				やや自然に近いスピードの会話や説明の中からキーワードを聞いて、全体の内容が推測できる。	
	○	◎				必要な情報を意識して聞きとることができる。	
	○	◎				まとまりのある会話や説明を聞いて、話者の意図や主張などが把握できる。	
	○	◎				短い発話や状況説明に対し、適切な発話ができる。	
	○	◎				ビジネス場面での会話を聞き、上下関係や社内外の関係が把握できる。	
テキスト・教材 参考図書		・氏原庸子・清島千春 『日本語能力試験N2聴解 必修パターン』 Jリサーチ出版 2018年 ・宮崎道子 監修 『BJT ビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解』 スリーエーネットワーク 2018年					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	聴解対策 基礎編 UNIT 1～7				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	2	聴解対策 対策編 課題理解① UNIT1				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	3	聴解対策 対策編 課題理解② UNIT2				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	4	聴解対策 対策編 ポイント理解① UNIT1				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	5	聴解対策 対策編 ポイント理解② UNIT2				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	6	聴解対策 対策編 概要理解① UNIT1、2				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	7	聴解対策 対策編 概要理解② UNIT3、4				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	8	聴解対策 対策編 即時応答① UNIT1～5＋統合理解①UNIT1				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	9	聴解対策 対策編 即時応答② UNIT6～9＋統合理解②UNIT2				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	10	模擬試験 フィードバック				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	11	確認テスト① フィードバック				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	12	総復習 ビジネス場面の聞き取り①				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	13	総復習 ビジネス場面の聞き取り②				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	14	確認テスト② フィードバック				間違えたところは聞き直す。語彙や文法はスクリプトでチェック。「試験に出る言葉」を書いてくる。(1時間)	
	15	N2レベル聴解 総復習				間違えたところは聞き直す。(1時間)	
評価方法	(1)授業内に小テストを4回、確認テストを2回行う (2)定期試験(筆記試験) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	小テスト/確認テスト	○	◎				50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						

科目名	ビジネス日本語B						
科目名(英)	Business Japanese B						
単位数	2単位		時間数	30	担当者	秋本佐代子／徳田万里子	
実施年度	2021年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年・国際介護福祉科1年						
授業概要	ビジネス、接客場面における日本語表現やマナー、立ち居振る舞いを学び、職場において、日本人と円滑なコミュニケーションがとれるようになることを目指す。基本会話の音読や文型練習で基礎を定着させ、ロールプレイでは動きも取り入れながら応用力を鍛えていく。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ビジネス用語を読み書きすることができる。	
	○	○				丁寧なことばに変える日本語のしくみを説明できる。	
		○	○			ビジネス表現を、動作と共に適切なタイミングで使うことができる。	
		○		○		基本を参考にしながら、短いビジネス会話文を作ることができる。	
	○	○				後輩と上司への言葉を使い分けについて説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	宮崎道子・郷司幸子 『にほんごで働く ビジネス日本語30時間』 スリーエーネットワーク(2019年) 『ハートフル・ビジネスマナー』 (株)ジェイティービー能力開発(2009年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	5. 頼む・断る(基本表現・ことば)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	2	5. 頼む・断る(入れ替え練習)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	3	5. 頼む・断る(会話練習)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	4	5. 頼む・断る(ロールプレイ)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	5	筆記ミニテスト / 6. 許可をもらう(基本表現・ことば)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	6	6. 許可をもらう(基本会話文と入れ替え練習)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	7	6. 許可をもらう(ロールプレイ)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	8	筆記ミニテスト / 7. アポイントをとる(基本表現・ことば)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	9	7. アポイントをとる(基本会話文と入れ替え練習)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	10	7. アポイントをとる(ロールプレイ)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	11	筆記ミニテスト / 8. 訪問する(基本表現・ことば)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	12	8. 訪問する(基本会話文と入れ替え練習)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	13	8. 訪問する(ロールプレイ)				テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。(1時間)	
	14	筆記ミニテスト / 今までの復習				これまでの言葉と表現の中で、自分が苦手なものをノートに書いて復習する。(1時間)	
	15	実演テスト				テキストのロールプレイの文章を	
評価方法	1)定期試験(筆記)、2)授業内で筆記ミニテストを4回、3)同じく授業内で実演テストを1回行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				40%
	筆記ミニテスト	◎	◎				20%
	実演テスト		◎	○	○		40%

科目名	応用日本語B_N1				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	染矢 悠子
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	日本語能力試験N2レベルの学生を対象に、読解と聴解を中心に指導を行う。11月末までは、N2レベル以上の取得を目指して、実際のJLPTの聴解試験や読解試験と同様の形式の問題に多く触れ、話の流れを予測したり、概要を掴んで正確な解答にたどりつけるよう指導していく。12月以降は、ビジネスの場面を想定したタスクを出し、進学後のインターンシップを想定した日本語の聴解力、読解力、書く力を養う。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	◎			
	○	◎			
	○	◎			
		◎		○	
		◎		○	
テキスト・教材 参考図書	・UNICOM ドリル&ドリル N1 聴解・読解 ・日本漢字検定協会 にっぽんのカイシャ〜ビジネス日本語を実践する				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	日本語能力試験N1読解問題の構成を知る。内容理解(短文)①			次回、小テストを行うので、復習をすること。(0.5時間)
	2	聴解について問題構成を知る。課題理解①			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	3	読解 概要理解(短文)②			次回、小テストを行うので、復習をすること。(0.5時間)
	4	聴解 課題理解①			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	5	読解 内容理解(中文)①			次回、小テストを行うので、復習をすること。(0.5時間)
	6	聴解 ポイント理解①			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	7	読解 内容理解(中文)②			次回、小テストを行うので、復習をすること。(0.5時間)
	8	聴解 ポイント理解②			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	9	読解 内容理解(長文)①			次回、小テストを行うので、復習をすること。(0.5時間)
	10	聴解 概要理解① 即時応答①			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	11	読解 内容理解(長文)②			次回、小テストを行うので、復習をすること。(0.5時間)
	12	聴解 概要理解② 即時応答②			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	13	読解 統合理解① 情報検索①			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	14	聴解 統合理解① 即時応答③			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	15	読解 確認テスト①			間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	16	読解 確認テスト②			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	17	読解 主張理解①			次回、小テストを行うので、復習をすること。(0.5時間)
	18	聴解 統合理解② 即時応答④			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	19	読解 確認テスト③			間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	20	聴解 確認テスト④			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	21	読解 テストのフィードバック			間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	22	聴解 テストのフィードバック			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	23	読解 主張理解②			間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)
	24	苦手分野の復習			間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)

	25	仕事の場面の日本語(ホテル)	新しい語彙や表現を覚えること(0.5時間)				
	26	仕事の場面の日本語(ホテル)	課題をやること。(0.5時間)				
	27	仕事の場面の日本語(介護)	新しい語彙や表現を覚えること(0.5時間)				
	28	仕事の場面の日本語(介護)	課題をやること。(0.5時間)				
	29	作文(縦書き・構成)	課題をやること。(1時間)				
	30	N1 総復習	間違えたところの復習をすること。(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)確認テストを4回実施する。(3)『仕事の場面の日本語』2課題、作文の2課題を提出する。 以上を下記の観点・割合で評価をする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	確認テスト	○	◎				30%
	宿題・レポート		◎		○		20%
	発表・作品						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	応用日本語B_N2												
科目名(英)													
単位数	4単位			時間数		60時間		担当者		徳田万里子 横地知子			
実施年度	2021年度			実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年												
授業概要	日本で働くには、日本語能力試験N2以上の力が必要となる。N2合格を目指し、読解と聴解を中心に出題分野別に学んでいく。N2読解では、幅広い話題について書かれた論旨の明快な文章を読んで、その内容や表現意図を理解する読解力が求められるため、初見の文章の構造を掴んで内容把握ができるよう、まず学習者が考え、その後、解説をしながら授業を進めていく。また実際の聴解試験と同様の形式の問題に多く触れ、聞きながら話の流れを予測したり、概要を掴んで正確な解答にたどりつけるよう指導する。介護やホテルの現場で使う表現、進学後を見据えた縦書き原稿用紙の使い方等も指導する。												
授業形式	講義： ○			演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標							
	○	◎				文章の構造や指示語が何を示しているか述べることができる。							
	○	◎				一般的な話題について書かれた文章について大意を述べることができる。							
	○	◎				一般的な話題に関する会話やモノローグを聞いて、話の流れや要旨を説明できる。							
	○	◎				まとまりのある会話を聞いて、登場人物の関係や状況を説明することができる。							
		◎		○		縦書原稿用紙に自分の考えを論理だてて書くことができる。							
テキスト・教材 参考図書	棚橋明美・杉山ますよ 他共著 『日本語能力試験スピードマスターN2 読解』 Jリサーチ出版 2016年 同 『日本語能力試験スピードマスターN2 聴解』 Jリサーチ出版 2016年												
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示				
	1	読解	ウォーミングアップ 読解力アップのポイントと練習							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	2	聴解	ウォーミングアップ キーワードを覚えよう① 課題理解①							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	3	読解	読み方のポイント 接続詞①							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	4	聴解	ウォーミングアップ キーワードを覚えよう② 課題理解②							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	5	読解	読み方のポイント 接続詞②							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	6	聴解	ポイント理解①							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	7	読解	内容理解(短文、中文)①							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	8	聴解	ポイント理解②							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	9	読解	内容理解(短文、中文)②							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	10	聴解	概要理解①							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	11	読解	内容理解(短文、中文)③							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	12	聴解	概要理解②							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	13	読解	内容理解(短文、中文)④							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	14	聴解	即時応答① 統合理解①							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	15	読解	確認テスト&フィードバック①							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	16	読解	確認テスト&フィードバック②							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	17	読解	統合理解① 主張理解① 情報検索①							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	18	聴解	即時応答② 統合理解②							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	19	読解	確認テスト&フィードバック③							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	20	聴解	確認テスト&フィードバック④							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	21	読解	統合理解② 主張理解② 情報検索②							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	22	聴解	即時応答② 統合理解②							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	23	読解	苦手分野の総復習							間違ったところをやり直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			
	24	聴解	苦手分野の総復習							間違ったところをもう聴き直すこと。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間)			

	25	仕事の日本語(介護編)	新しい語彙や表現を覚えること(0.5時間)				
	26	仕事の日本語(介護編)	課題をやること。(0.5時間)				
	27	仕事の日本語(ホテル編)	新しい語彙や表現を覚えること(0.5時間)				
	28	仕事の日本語(ホテル編)	課題をやること。(0.5時間)				
	29	作文の書き方(縦書き 構成)	課題をやること。(1時間)				
	30	N2 総復習	間違えたところの復習をすること。(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)確認テストを4回実施する。(3)『仕事の日本語』課題を2回、作文の2課題を提出する。 以上を下記の観点・割合で評価をする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	小テスト	○	◎				30%
	宿題・レポート		◎		○		20%
	発表・作品						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用日本語B_N1						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	横地 知子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年						
授業概要	JLPT N2取得者を対象に、N1レベルの日本語習得を目指すため、苦手分野の強化を図る。とりわけ、読解や聴解の基礎となる言語知識分野の「文法」を中心に、J実際のJLPTの出題形式に近い問題を多数解く。それによりN1レベルの目標である「より幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」レベルへの到達を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	◎				文の内容にあった文法形式を使って文を作ることができる。	
	○	◎				N1レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。	
	○	◎				N1レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・松浦 真理子 監修 『日本語パワードリルN1文法』 アスク出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1、2、3日目			間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)		
	2	第4、5日目 集中トレーニング①② 助詞(1)、(2)			間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)		
	3	第6、7日目 集中トレーニング③④ 助詞(3)、「こと」と「もの」			間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)		
	4	第8、9日目 集中トレーニング⑤⑥ 副詞(1)、副詞(2)			間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.6時間)		
	5	第10、11日目 集中トレーニング⑦⑧似ている表現(1)、(2)			間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.7時間)		
	6	第12、13日目 集中トレーニング⑨使役・受身			間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.8時間)		
	7	模擬試験 フィードバック			間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.9時間)		
	8	第14、15日目 集中トレーニング⑩繰り返しの文型			間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.10時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する。(2)模擬試験(言語知識 文法分野)の結果 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				50%
	小テスト	○	○				50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、評価対象とならない。						

科目名	実用日本語B_N2						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	秋本 佐代子
実施年度	2021年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年						
授業概要	中級レベルの日本語学習者を対象に、JLPT N2受験・合格を目指し、苦手分野の強化を図る。とりわけ、言語知識の分野で、読解や聴解の基礎となる文法を中心に、実際の出題形式に近い問題を多数解くことにより、N2レベルの目標である「日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」レベルへの到達を目指す。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	◎				文の内容にあった文法形式を使って文を作ることができる。	
	○	◎				N2レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。	
	○	◎				N2レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・松浦 真理子 監修 『日本語能力試験パワードリルN2 文法』 アスク出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第16、17、18日目				間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)	
	2	第19、20日目 集中トレーニング⑦⑧似ている文型(1)(2)				間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)	
	3	第21、22日目 苦手分野の復習①(並べ替え)				間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)	
	4	第23、24日目 苦手分野の復習②(敬語)				間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.6時間)	
	5	第25、26日目 苦手分野の復習③(接続表現)				間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.7時間)	
	6	第27、28日目 集中トレーニング⑨⑩似ている文型(3) 敬語				間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.8時間)	
	7	模擬試験 フィードバック				間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.9時間)	
	8	第29、30日目 苦手分野の復習(文章の文法)				間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.10時間)	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)模擬試験(言語知識 文法分野)の結果 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験結果	○	◎				50%
	小テスト	○	○				50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						

科目名	ホテル概論B									
科目名(英)	Outline of Hotel Industry B									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		木村 匡志	
実施年度	2021年度		実施時期		後期		担当者実務経験		外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年									
授業概要	ホテル全般や取り巻く環境等に関する知識を広く学ぶ。特にレストラン・宴会といった料飲部門の基本的な業務理解を中心に、ホテル業界にて働く上で知っておくべき知識や専門用語の習得を目指す。									
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				日系・外資系のホテルグループについて、分類を理解し答えることができる				
	○	○				ホテルのレストラン部門について、詳しい概要を答えることができる				
	○	○				料飲部門で使用する什器備品について、正しく答えることができる				
	○	○				ホテルの宴会部門について、業務内容を答えることができる				
テキスト・教材 参考図書	なし									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	授業内容・評価方法説明、ホテルのカテゴリー					授業内容を復習しておくこと			
	2	客室タイプ、ホテル御三家／新御三家／新々御三家の客室タイプ調べ					調べた内容をまとめておくこと			
	3	日系ホテルグループと代表的なホテル					授業内容を復習しておくこと			
	4	外資系ホテルグループと代表的なホテル					授業内容を復習しておくこと			
	5	料理カテゴリー別のホテルレストラン					授業内容を復習しておくこと			
	6	ホテルのレストラン調べ、ホテルのバーやラウンジ・ケーキショップ					授業内容を復習しておくこと			
	7	ホテルのバーやラウンジ・ケーキショップ調べ					調べた内容をまとめておくこと			
	8	料理のメニュー構成					授業内容を復習しておくこと			
	9	レストランやバーで提供される代表的なアルコール飲料					授業内容を復習しておくこと			
	10	什器備品の知識(シルバーウェア)					授業内容を復習しておくこと			
	11	什器備品の知識(チャイナウェア・リネン)					授業内容を復習しておくこと			
	12	什器備品の知識(グラスウェア)					授業内容を復習しておくこと			
	13	ホテルの宴会部門、宴会の種類					授業内容を復習しておくこと			
	14	宴会サービス部門の業務、テーブルプラン					授業内容を復習しておくこと			
	15	ホテル見学、レポート課題					レポートを提出すること			
評価方法	(1)授業中での小テスト(2)レポート課題 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	小テスト	◎		○				50%		
	レポート課題	◎		○				50%		

科目名	ホテルサービスB						
科目名(英)	Hotel service I B						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	一岡 浩己
実施年度	2021年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	外資系ホテル13年勤務
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で働くことを目指すにあたり、ホテルスタッフとして必要なサービス技術を習得する必要性がある。この授業では、特に宿泊部門に必要なサービス技術についてを深く学び、実践を通して身に付けることを目標とする。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				宿泊部としての業務を理解し説明できる。	
			○			アテンド業務を行うことが出来る。	
		○	○			コンシェルジュとしての観光案内が行える。	
	○		○			ハウスキーピング業務を理解し、説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	一般社団法人 日本ホテル教育センター 宿泊業務の基礎						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	宿泊部の役割について(特性・使命・心得) 宿泊部以外の部署について(宴会・インターナショナルセールス)				今日学んだ内容をノートにまとめる	
	2	ベルスタッフ業務説明・実務 ・案内の流れ ・お出迎えからフロントまで案内				アテンドのセリフを覚える	
	3	アテンド実務(ロビー) フロントからエレベーターまで案内(カートの使用方法含む)				アテンドのセリフを覚える	
	4	アテンド実務(客室)① 入室から退室				アテンドのセリフを覚える	
	5	アテンド実務(客室)② 入室から退室				アテンドのセリフを覚える	
	6	ハウスキーピング業務① ベッドメイキング・タオルアート実務				自宅のタオルでタオルアート作成	
	7	ハウスキーピング業務② ベッドメイキング・タオルアート実務				自宅のタオルでタオルアート作成	
	8	小テスト(1コマ目から7コマ目)・アテンド実務の復習				小テスト予習	
	9	コンシェルジュ業務① 福岡での観光プランについて話し合う。				話し合った内容をノートにまとめる	
	10	コンシェルジュ業務②観光プラン発表・実技				レポート作成	
	11	アテンド実務(客室)③入室から退室				セリフを覚えて動きもできるよう練習	
	12	アテンド実務(客室)③入室から退室				セリフを覚えて動きもできるよう練習	
	13	実技テスト① 入室から退室まで				実技テストで大事なポイントをノートにまとめる	
	14	実技テスト② 入室から退室まで				実技テストの反省点をノートにまとめる	
	15	総まとめ				1コマ目からの不明点を考えてくること	
評価方法	(1)授業の中で実技確認テストを実施する。(2)授業の中で筆記確認テストを実施する。(3)出席状況や授業中の態度・意欲も成績評価に含む。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技確認テスト	◎		◎			40%
	確認テスト	◎	◎				40%
	レポート発表・提出		◎	◎			20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ホテルコミュニケーションスキルB											
科目名(英)	Hote Communication Skill B											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		秋本佐代子			
実施年度	2021年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年											
授業概要	ホテルで働くのには敬語の知識が不可欠であるが、この授業では場面に応じた基礎的な敬語の運用を学んでいく。普段の日本語科目授業では目にしない専門用語に触れ、覚えるだけでなく、適切なタイミングで即座に使用できるよう、音読練習やロールプレイ練習も取り入れていく。											
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				カジュアルな表現を敬語に変えて話することができる。						
	○	○				お客さまを案内する簡単な英文を挙げることができる。						
		○				お客さまに情報を順序正しく説明することができる。						
			○	○		ホテルの場面に応じた表現を、動作と共に適切なタイミングで使うことができる。						
テキスト・教材 参考図書	自作プリント											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	ホテル業界の面接					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	2	ホテル科先輩からの講話					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	3	サービス業界について講話					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	4	ホテルサービスで大切なこと					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	5	観光地案内					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	6	電話を受ける・取り次ぐ					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	7	ルームサービス					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	8	ハウスキーピング					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	9	ランドリーサービス					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	10	レストラン					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	11	英語で案内(観光地案内)					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	12	英語で案内(レストラン)					学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)					
	13	ロールプレイスクリプト作成(基本)					ロールプレイのアイデアと使う語句・表現をノートにまとめr。(0.5時間)					
	14	ロールプレイスクリプト作成(応用)					ロールプレイのスク립トを音読しながらノートに書く。(0.5時間)					
	15	実演テスト					後期の表現をノートにまとめる。(0.5時間)					
評価方法	1)レポート提出1回、2)実演テストを1回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	レポート提出		○		◎				○		50%	
	実演テスト		○		◎				○		50%	

科目名	ビジネスマナーB						
科目名(英)	Business manners A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長まゆみ / 秋本佐代子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年 国際介護福祉科1年						
授業概要	日本で働く上で知っておくべきビジネスマナーを事例と共に学んでいく。その際、なぜそのマナーがあるのかの理由を理解していくと共に、自国のマナーとの違いを説明できるようになることを目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日本のマナーを理由と共に説明することができる。	
	○	○				自国と日本のマナーの違いについて説明することができる。	
		○		○		イベントの企画・運営に際して、グループで協調することができる。	
	○	○				自分が調べた内容を整理して説明することができる。	
	○	○				手紙文と宛名を正しく書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	武田聡子・長崎清美『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』 日本能率協会マネジメントセンター(2020年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	3-1 話を聞くととき				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	2	3-2 指示を受けるとき / 3-3 注意を受けたとき				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	3	3-4 退社時のマナー / 3-5 葬儀のマナー				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	4	3-6 贈答のマナー / アクティビティ「企画する」				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	5	3-7 食事のマナー / アクティビティ「話をまとめる」				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	6	3-8 お酒の席のマナー / アクティビティ「準備する」				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	7	アクティビティ「会社のパーティを運営する」				アクティビティをした感想をノートに書く。(0.5時間)	
	8	4-1 名刺の扱い方 / アクティビティ「社員旅行の計画・場所」				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	9	4-2 仕事に役立つ雑談 / アクティビティ「社員旅行の計画・交通」				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	10	4-3 場所ごとの席次 / アクティビティ「社員旅行の計画・旅程表」				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	11	4-4 案内と見送り / アクティビティ「社員旅行の計画」発表				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	12	4-5 お茶の出し方・飲み方 / グリーティングカード作成				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	13	4-6 訪問のマナー / 年賀状作成				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	14	4-7 名刺の扱い方 / 4-8 派遣と出向				「理解を深めましょう!」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)	
	15	筆記テスト				今まで学んだことをノートにまとめる。(1時間)	
評価方法	(1)授業の中で筆記テストを実施する、(2)スピーチ動画を提出する、 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記テスト	◎	◎				50%
	スピーチ動画提出	◎	◎		◎		50%

履修上の注意	テキストを持って来るのを忘れないこと。忘れた場合は、自分でコピーを準備すること。 スピーチ動画はTeamsで提出すること。					

科目名		サービス接客B								
科目名(英)		Service Industry Skills B								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	秋本佐代子			
実施年度	2021年度		実施時期	後期		担当者実務経験				
対象学科・学年		国際ホテル・リゾート科1年								
授業概要		サービス業に就くうえで必要なビジネスマナーの基礎知識や、優れたサービススタッフとしての心構えや立居振る舞いについて学ぶ。また専門用語や敬語を学ぶことで、日本語運用能力も高めていく。様々な事例に対してどう対応すべきか自分の意見を述べる力も養っていく。								
授業形式		講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
		○				毎回の授業のテーマについて大事なポイントを説明することができる。				
		○	○			お客さまへの正しい応対仕方について説明することができる。				
	○	○				5択の文章問題で、正解の理由を説明することができる。				
	○	○				簡単なビジネス文書の正しい箇所に正しい情報を書き入れることができる。				
テキスト・教材 参考図書		公益財団法人 実務技能検定協会 『サービス接客検定公式テキスト3級』 早稲田教育出版(2019)								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	4 対人技能(人間関係)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	2	4 対人技能(対人心理)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	3	4 対人技能(接客者としてのマナー)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	4	4 対人技能(接客用語と基本的な話し方)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	5	4 対人技能(提示・説明の仕方)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	6	4 対人技能(服装)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	7	5 実務技能(問題処理)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	8	5 実務技能(環境整備)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	9	5 実務技能(金品管理)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	10	5 実務技能(社交業務)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	11	ビジネス文書(報告書)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	12	ビジネス文書(購入申請書)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	13	ビジネス文書(案内文)					テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)			
	14	筆記テスト					今まで解いた問題をもう一度解く。間違えた問題の理由をノートにまとめる。(1時間)			
15	サービス接客2級問題について					もう一度ビジネス文書を自分で作成する。(0.5時間)				
評価方法	(1)授業の中で筆記テストを1回実施する、(2)定期試験(筆記)を実施する、(3)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	授業内筆記テスト	◎	◎				50%			
	正試験	◎	◎				50%			

科目名	実用英語B						
科目名(英)	Practical English B						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	秋本佐代子
実施年度	2021年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	英検3級合格に必要な基本的な単語・文法の習得を目指す。文法のしくみを理解するだけではなく、例文の音読を繰り返すことで定着を図る。また英作文の基本構成を学び、短い英作文を自分で作っていく。						
授業形式	講義: ○		演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				3級合格に必要な基本的な単語(形容詞・副詞・熟語)の意味を説明することができる。	
		○				対話分の流れを説明することができる	
		○				長文読解で全体の概要を説明することができる	
	○	○				短い英作文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『小学生のためのよくわかる英検3級合格ドリル』 旺文社(2017年) 『7日間完成英検3級予想問題ドリル』 旺文社(2019年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	対話分(付加疑問文・勧誘)／単語(形容詞・副詞)				学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)	
	2	対話分(依頼)／会話復習 / 単語(形容詞・副詞)テスト				学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)	
	3	読解(お知らせ) / 単語(熟語)				学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)	
	4	読解(Eメール) / 単語(熟語)テスト				学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)	
	5	読解(説明文)／ 単語(前置詞・接続詞)				学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)	
	6	英作文(疑問文の答え方) / リスニング(対話分)				英作文の例文を2回ノートに書き写す。リスニングのスク립トを音読する。(1時間)	
	7	英作文(理由の書き方) / リスニング(ナレーション)				英作文の例文を2回ノートに書き写す。リスニングのスク립トを音読する。(1時間)	
	8	復習テスト／ 英作文(まとまりのある英文)				復習テストに向け今までの単語・例文を書いて音読して覚えを定着させる。(0.5時間)	
評価方法	(1)単語テストを3回、 (2) 復習テストを1回、実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	単語テスト(筆記)	◎	◎				50%
	復習テスト(筆記)	◎	◎				50%
履修上の注意	特になし。						